

2025年5月22日

皆様へ

臨床研究の実施に関するお知らせ  
手術室における体内異物遺残確認方法の検証  
情報公開文書

現在、当院の放射線診断科では、以下の臨床研究を実施しております。

本研究では、胸部人体ファントム撮影のデータを活用させていただきます。

ご自身のデータが本研究に使用されることに異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することが可能です。

研究の詳細について知りたい方、またはご質問がある方は、以下の「お問い合わせ先」までご連絡ください。現在、放射線診断科では、下記の臨床研究を実施しております。

① 研究の課題名 手術室における体内異物遺残確認方法の検証

② 研究の目的

当センターでは、手術中に体内異物遺残（以下異物遺残）が疑われた場合、執刀医の判断により手術室でのポータブル X 線撮影や全身 X 線 Computed Tomography（以下 CT）装置で異物遺残の有無を評価していたが、異物遺残物に対してどのモダリティの検出率が高いか検証できていない。このため、胸部人体ファントムを使用して異物遺残物の検出率が高いモダリティを評価することを目的としています。

ファントム評価のため、対象となる患者様はおりません。

③ 研究期間

2024年4月から2026年3月まで

④ 利用させていただくデータ

本研究では、7種類の医療器具（4-0 針、8-0 針、10-0 針、外科用テープ、血管テープ、クランプカバー、綿状パッド）に対しての以下の撮影画像。

① ポータブル X 線撮影の撮影画像

② 血管撮影装置の透視画像

③ 血管撮影装置の撮影画像

④ CT 装置の撮影画像

⑤ 個人情報の取り扱いと倫理事項

本研究では、画像評価者を直接特定できる情報（お名前など）を研究データから削除します。そのため、当院のスタッフ以外が受診者を特定することはありません。

研究の成果は、学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も匿名化を徹底し、受診者のプライバシーが保護されるよう配慮いたします。

なお、本研究は国の定めた指針に基づき、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を経て、センター長の許可のもと実施しています。

⑥ 研究の実施体制

研究責任者 放射線治療科部 診療放射線技師 畠山 修平

研究者名 放射線診断科部 兼 放射線治療科部 診療放射線技師 荒井 一正

放射線診断科部 鈴木 諭、川村 佳生、福田一茂

放射線治療科部 湯浅 大輔

放射線治療科部 医師 根来 慶春

放射線診断科部 医師 梅岡 成章

⑦ お問い合わせ先

〒640-8558 和歌山市小松原通四丁目 20 番地

日本赤十字社 和歌山医療センター

代表電話番号 073-422-4171

放射線診断科 梅岡成章